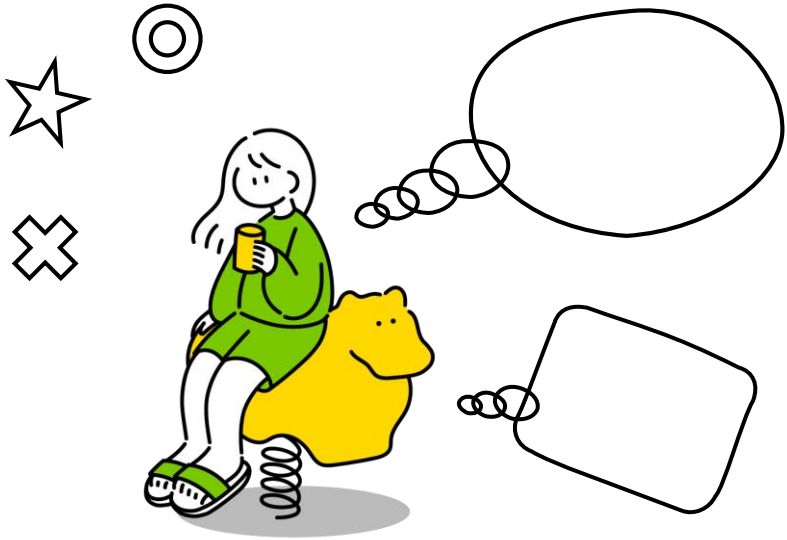
YA…Young Adult【ヤングアダルト】の略で、
12才～19才くらいの人たちをさす言葉

ＹＡだより

Vol.33
令和7（2025）年10月発行
船橋市東図書館



特集
「知ってる？〇〇のしくみ」

「〇〇って△△だけど、なぜだろう？」
「××が☆☆できるしくみって？」
その裏側を知れる本を集めました。

★今号は、東図書館だけでなく市内の他の図書館・公民館図書室等に所蔵のある本の中からピックアップして紹介しています（東図書館は工事中により閲覧スペースへの立入りができないため）。

特集
「知ってる？〇〇のしくみ」

ここで紹介した本は
市内の図書館・公民館図書
室等に所蔵が
あります

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

『13歳からの考古学
「なんで人は青を作ったの？」
青色の歴史を探る旅』
谷口陽子,髙橋香里/著
クレメンス・メッツラー/画
新泉社
576.9/ﾀ

今でこそ身の回りにあふれている「青」という色ですが、実はその材料となるものは自然界にほとんど存在しないのだそうです（とても貴重ということ！）。では、そんな貴重な「青」はどうやってこんなに広まったのでしょうか…。
主人公たちと一緒に、その謎を解く旅に出かけましょう🐎

『介護の花子さん』
あさばみゆき/著
Gakken
F/ｱｻ

話をしたり実際に経験することで、初めて見えてくるものってありますよね。
主人公・花ちゃんが数々の企業からの「お祈りメール」を乗り越えてついに内定＆就職したのは、サービス付き高齢者向け住宅「ふぁんホーム天王町」。入居者のみなさんや同僚との関わりを通して、花ちゃんが少しずつ色んなことに気付いていく物語です。
決めつけずにまずは聞いてみること、想像してみることの大切さが描かれているお話だと感じました。「スピーチロック」など、介護のお仕事で使われる言葉や、具体的な業務の様子などもたくさん盛り込まれています。
花ちゃんの境遇や性格が私とだいぶ似ていて、親近感が湧きました。

特集
「知ってる？〇〇のしくみ」

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

『カラー版　本ができるまで　増補版』
岩波書店編集部/編
岩波書店
022.7/ホ

印刷技術、製本技術ってすごい！
文庫版、新書版、四六判、菊版。
天、地、のど、はなぎれ。
明朝体、ゴシック体、教科書体、楷書体。
CMYK、RGB。
こんな単語たちにピンと来たら、ぜひ読んでみてください📚

『てっぱく発鉄道物語』
荒木文宏,奥原哲志/著
岩波書店
686.2/ア

「station」という言葉の日本語訳が「駅」で定着したのはいつ？新幹線車両の寿命は？女性専用車は明治からあったってほんと？
鉄道博物館・通称「てっぱく」の副館長さんと主幹学芸員さんが、鉄道の歴史を様々な角度から伝えてくれます。てっぱく、行ってみたいな～☺

『ハケンアニメ!』
辻村深月/著
マガジンハウス
F/ツ

みんな大好き辻村深月さんによるお仕事小説！
映画もとっても最高で、劇場へ2回観に行きました。

特集
「知ってる？〇〇のしくみ」

★　★　★　★　★　★　★　★　★　★　★　★　★

『江戸を照らせ 蔦屋重三郎の挑戦』
小前亮/作
中島花野/画
小峰書店
289.1/ヲ

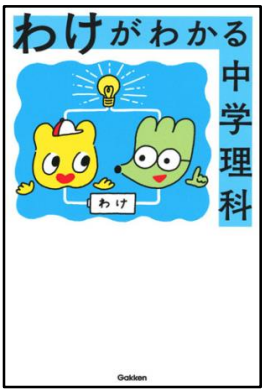
大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」でも話題の人物・蔦屋重三郎の人生を追体験できる一冊です！
歴史系の児童向け作品も数多く手がけている小前亮さんが描きます。

『読まれる覚悟』
桜庭一樹/著
筑摩書房
901.3/サ

『GOSICK-ゴシック-』『砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない』などで知られる桜庭一樹さんが、本を出版するとどうなるのか、出版した本が読まれるというのはどういうことか…などについてじっくりと話しています。
自分の意図と異なる読まれ方をされてしまったり、まるで作者＝神様のように思われてしまったり、自分の書くものが差別に繋がっていないかと悩んだり…。
さまざまな不安とどのように付き合っていくのか、自分の心を守って創作を続けていくためにどうすればよいのか、一緒に考えてくれています。

特集
「知ってる？〇〇のしくみ」

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★



『わけがわかる中学理科』
学研プラス／編
Gakken
404/ワ

考えたことはなかったけれど、いざ聞かれると「そういえばなんでだろう…」な、生活の中の小さなギモンの答えがたくさん書いてあります。重要ポイントのまとめページや確認テストもあって、普段の気軽な勉強タイムにおすすめ❗フルカラー＆会話形式で楽しく読めて、公式や法則もしっかり載っています。

『ヴンダーカンマー
ここは魅惑の博物館』
樫崎茜/著
上路ナオ子/画
理論社
F/カシ

『正しく疑う
新時代のメディアリテラシー』
池上彰/監修
Gakken
361.4/タ

担当より

工事中の東図書館（臨時窓口）からこんにちは☺🌟
長袖が着られる気温になってきて嬉しいYA担当です。

夏の間は、予約資料受取コーナーにて「船橋市図書館 ・ 薬園台高校コラボレーション展示」を実施していました。薬高のみなさん、今年も素敵なPOPを飾らせていただきありがとうございました☺🎶
東図書館での展示期間は終了しましたが、1月末まで市内の各図書館で巡回展示を行っています。（巡回展示は初！）お近くの方はぜひ現物を見に行ってみてください✨
東図書館の公式X（@higa_library）でも1枚ずつ紹介しています。

観ているドラマが最終回を迎えました。
好きな俳優さんが沢山出ているのと、ストーリーもとても好きな感じで…。放送のある月曜日を毎週楽しみにしていました。色んな部分が丁寧に描かれていて、こちらに「ちゃんと見てるよ」と言ってくれているような優しい空気が大好きでした。これからも心にしまっておきたいと思える作品でした〜🌌🍎📚

それではまた次号で😎

YAだよりVol.33　令和7（2025）年10月発行
船橋市東図書館 YA担当 ☎047（463）3611

X　HP　Facebook